

日本ビジネス航空協会 会報

2018年7月号 (隔月刊)



JBAA JAPAN BUSINESS AVIATION ASSOCIATION
一般社団法人 日本ビジネス航空協会

CONTENTS

- ◇ ビジネス航空業界のトピックス・新着情報 3 ページ

- ◇ 協会ニュース 5 ページ

- ◇ 会員紹介 … 株式会社 Japan General Aviation Service
7 ページ

- ◇ 入会案内 11 ページ

【表紙写真】 Vision SF50

CIRRUS AIRCRAFT 社が製造販売する、世界初の単発ジェット機。
今号の「会員紹介」ページに寄稿いただきました(株)Japan General
Aviation Service 様の記事で紹介されています。

◇ ビジネス航空界のトピックス・新着情報

平成 30 年度の定時社員総会が開催されました

平成 30 年度総会が 5 月 18 日、ホテルメルパルク東京で開催され、平成 29 年度事業報告・会計報告、平成 30 年度事業計画・予算・役員改選等が承認・報告されました。(平成 30 年度の役員体制については、協会ホームページの「役員」欄をご参照ください)

総会終了後に開催いたしました懇親会には、国土交通省から蝦名航空局長、仏国大使館からステファン・ルデュ経済部参事官からご挨拶をいただきました。続けて大野航空局航空ネットワーク企画課長には乾杯のご発声をいただき、会員の皆様との交流の場を持たせていただきました。





蝦名航空局長



ステファン・ルデュ仏国大使館経済部参事官



大野航空局航空ネットワーク企画課長



御来賓の方々をはじめ、多くの会員の皆さまにご参加をいただきました



HondaJet、日本で販売開始

ホンダエアクラフトカンパニー（以下HACI）は、日本において「HondaJet Elite」の受注を開始することを、6月6日に発表しました。販売にあたっては、丸紅エアロスペース（株）をディーラー「HondaJet Japan」に指定し、販売・整備・機体の運用サポート等のサービスを提供します。併せて、岡山航空（株）が丸紅エアロスペース（株）から一般顧客向けの整備会社を選定されました。

HACIは航空局に対し、今年5月に機体形式証明申請を行っていて、2019年前半の納入開始を目指しています。

(HACIプレリリースから抜粋)



HondaJet Elite (HACI HP から)

関西国際空港にビジネスジェット専用施設

関西エアポート（株）は本年6月15日に、関西国際空港第2ターミナルビルにビジネスジェット専用施設「Premium Gate 玉響」をオープンしました。

- ・設備概要 : 保安検査場、CIQ施設、待合ラウンジ、会議室他
- ・運用時間 : 24時間
- ・料金 : 200,000円/回（税抜き）
- ・備考 : 利用希望日の前日（正午12時）までの申込みが必要

(関西エアポート(株)リリースから抜粋)

◇ 協会ニュース

平成2年度第2回および第3回理事会が開催されました

5月18日の社員総会をはさんで平成30年度第2回および第3回の理事会が開催され、定時社員総会の議事が確認されるとともに、新たな役員人事が承認されました。

主要協会活動（5-6月）

- 5月18日 理事会、定時社員総会が開催されました。（前述）
- 5月23日 岡田会長、田村副会長、森崎事務局長が、蝦名航空局長を訪問し、総会終了後のご挨拶を行いました。

- 5月24日 森崎事務局長、菊池事務局次長が、第4回航空機検査精度等検討小委員会に出席しました。
- 5月28日 同日発売の週刊東洋経済に岡田会長取材記事が掲載されました。
- 5月31日 田村副会長、森崎事務局長が、SJAC（日本航空宇宙工業会）の懇親会に出席して、業界関係者のご挨拶、意見交換を行いました。
- 6月5日 航空局政策企画調査室の主催で開催された、国際観光旅客税に関するグランドハンドリング事業者向けの説明会に、協会関係者が参加しました。
- 6月6日 岡田会長が都内ホテルで開催された、Honda Aircraft Company 主催の懇談会に出席しました。
- 6月7日 岡田会長が週刊東洋経済の取材を受けました。
- 6月8日 空港・グランドハンドリング拡大専門委員会の第1回新千歳空港分科会を新千歳空港内で開催しました。田村副会長及び東山常務理事（委員会委員長）の他、関係するグランドハンドリング会社が参加し、空港事務所と利便性改善について議論を行いました。
- 6月8日 森崎事務局長が、JBAA が賛助会員となっている日本航空機操縦士協会の懇親会に出席しました。
- 6月11日 森崎事務局長、菊池事務局次長が、第5回航空機検査精度等検討小委員会に出席しました。
- 6月11日 全国地方航空システム推進協議会（全地航）主催の講演会に田村副会長、森崎事務局長が出席しました。
- 6月14日 田村副会長、東山常務理事他グランドハンドリング会社が、関西空港に新たに設置されたビジネスジェット専用施設「Premium Gate 玉響」の説明会出席のため関西空港へ出張しました。（前述）
- 6月14日 森崎事務局長、菊池事務局次長が岡山航空に出張しました。
- 6月18日 菊池事務局次長が第6回航空機検査精度等検討小委員会に出席しました。
- 6月19日 岡田会長が静岡県の難波副知事の表敬訪問を受けました。
- 6月21日 森崎事務局長、菊池事務局次長が、航空局安全部に出向いて、運航管理者要件他についてブリーフィングを行いました。
- 6月26日 岡田会長、田村副会長が大野航空ネットワーク企画課長を訪問しました。

◇ 会員紹介

株式会社 Japan General Aviation Service

株式会社 Japan General Aviation Service は 2011 年 12 月に設立された、社歴の若い会社です。

航空機部品を販売する商社としてスタートを切りましたが、その後、航空機販売事業、航空機整備事業、パイロット養成事業（航空機使用事業免許取得）と少しずつ事業領域を拡大して参りました。

弊社は、「謙虚であること」「誰にも負けない創意・工夫・努力を行うこと」「お客様にとって最高のサービスを追求すること」「航空界そして社会の進歩発展に貢献すること」を企業理念としています。

これからも設立当初の初心を忘れず、地味な努力を積み重ねることにより、日々変化するお客様にとっての「最高のサービス」を追求して参ります。

会社概要

会社名 株式会社 Japan General Aviation Service

代表者 代表取締役 富永 義隆

設立 2011 年 12 月

資本金 2,000 万円

従業員 49 名(2018 年 7 月現在)

会社沿革

2011 年 会社設立。航空機部品販売事業を開始

2012 年 米国シーラス・エアクラフト社の日本総代理店として、航空機販売事業を開始

2014 年 鹿児島航空機整備センターを開設し、航空機整備事業を開始

2015 年 航空機使用事業免許を取得し、パイロット養成事業を開始

2017 年 航空機整備事業の 2 拠点目となる帯広事業所を開設

回転翼航空機整備事業を開始

事業内容

・航空機部品販売事業

東京都江東区の東京事業所を拠点に、日本国内・アジア地域のエアライン様・航空運送事業および航空機使用事業会社様へ航空機部品、資材、油脂類および航空機整備用機材の販売を行っています。

事業拠点である東京都江東区の東京事業所には部品倉庫を設け、数多くの部品を在庫し

ています。

JGAS の部品販売事業は、航空整備士資格を有したスタッフが部品販売を行っていることが大きな特徴であり、専門的な問い合わせであっても的確に対応可能な体制を整えています。

また、部品のトレーサビリティ管理を徹底した体制を敷いており、例えば同じ部品番号の部品であっても製造ロットが異なる場合は、ボルトやワッシャーであっても別々の管理を行っています。保管環境維持において重要な温度管理についても部品構内を4つのゾーンに分け、製造者の指示に合わせて適切に保管をしています。

・ 航空機販売事業

2018年7月現在、CIRRUS AIRCRAFT 社(アメリカ)およびTECNAM 社(イタリア)の国内総代理店として輸入販売業務を行っています。

・ CIRRUS AIRCRAFT 社

シーラス社は、米国ミネソタ州ダルースに本社を構える航空機メーカーです。1984年に創業した比較的新しい会社ですが、既成の枠にとらわれず、従来の小型機にはないパラシュート等の革新的な機能を多く搭載した航空機を世に送り出してきました。単発ピストン飛行機「SR20」「SR22」「SR22T」の3機種および Certified 機としては世界で初めての単発ジェット機(ターボファン)である「Vision SF50」を製造販売しています。

ここでは、世界初の単発ジェット機である SF50 をご紹介します。



「Vision SF50」通称 Vision Jet(ビジョン・ジェット)は、同社の SR シリーズを基に開発された小型単発ジェット機です。VLJ (Very Light Jet, 超軽量ジェット機)と呼ばれる、従来のビジネスジェットよりもさらに小型のジェット機にカテゴライズされます。Vision Jet は、小型プロペラ機と、ビジネスジェットとの隙間を埋める、革新的な小型ジェット機です。

高高度の飛行が可能な与圧キャビンや、優れた巡航速度、航続距離など、ビジネスユースに耐えられる性能を備えていながら、小型プロペラ機とほとんど変わらない大きさの機体はフットワークが軽く、ご家族・ご友人とのレジャーにも、ビジネスシーンにおけ

る VIP の移動手段にも最適です。

操縦に高度な知識と技能を要する従来のビジネスジェットとは異なり、「自家用パイロットが趣味の一環として操縦できる航空機」を主眼に置いて開発されたことも、Vision Jet の大きな特徴です。

日本には 2020 年初頭に第 1 号機が輸入される予定です。

●機体諸元

全幅：11.79 m

全長： 9.42 m

全高： 3.32 m

搭乗者：最大 7 名(パイロットを含む)

最大巡航速度：300 kt TAS

最大巡航高度：28,000 ft

最大航続距離：1,000 nm (300 kt: High Speed Cruise)

1,200 nm (240 kt: Economy Cruise)

・航空機整備事業

JGAS の航空機整備事業は、鹿児島空港に隣接する JGAS 鹿児島航空機整備センターおよび帯広事業所の 2 拠点で航空機整備業務を実施しています。

帯広事業所は航空大学校様の訓練機整備受託業務のみですが、鹿児島航空機整備センターでは固定翼・回転翼の幅広い機種について整備を行っています。

JGAS の取扱機種の約半数が複合材製の航空機であることから、複合材修理能力の向上にも力を入れています。

なお、整備現業は鹿児島および帯広ですが、技術支援、技術管理、および品質保証部門は東京に配置しています。

時代の変革に応じた技術を身に着けられるよう日々努力を行っています。

・パイロット養成事業

2015 年に航空機使用事業免許を取得し、より質の高いパイロットを育成すべく「民間航空操縦士訓練学校」を設立しました。

当校の特徴は少人数教育であることです。

毎年一期のみの募集で、入学試験を実施した上で入校受け入れ数は 3 名、使用機材は単発過程が CIRRUS SR20、多発過程が Diamond DA42NG です。



(航空大学校に納入された CIRRUS SR22)

また、当校は免許取得過程にも特徴があります。

一般的には自家用(単発)→事業用(単発)→計器飛行証明(多発)・・・という流れですが、これを大きく変え、自家用(単発)→前期事業用訓練(単発)→計器飛行証明(単発)→後期事業用訓練(単発)→多発過程とし計器飛行証明を単発機で取得します。

免許の取得順序としては、自家用操縦士取得→計器飛行証明取得→事業用操縦士取得→多発限定となります。

より質の高い訓練を日々追求しています。

最後になりますが、今回このような貴重な機会を与えて頂きました JBAA 事務局および関係者の皆様に感謝申し上げます。

まだまだ微力かもしれませんが、日本のビジネス航空の発展に貢献出来るよう私共も努力して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

株式会社 Japan General Aviation Service

航空事業統括本部 富永 政幸

(連絡先)

TEL: 03-5778-5285 m.tominaga@jgas-aircraft.co.jp

◇ 入会案内

当協会の主旨、活動にご賛同いただける皆様のご入会をお待ちしています。会員は、正会員（団体及び個人）と本協会の活動を賛助する賛助会員（団体及び個人）から構成されています。詳細は事務局迄お問い合わせ下さい。入会案内をお送り致します。

入会金	正会員	団体	50,000 円
		個人	20,000 円
	賛助会員	団体	30,000 円
		個人	1,000 円
年会費	正会員	団体	126,000 円以上
		個人	20,000 円以上
	賛助会員	団体	52,500 円以上
		個人	10,500 円以上



(一社) 日本ビジネス航空協会 事務局

〒100-8691

東京都千代田区内幸町 2-1-1

飯野ビル 双日株式会社 内

電話: 03-6871-5107

Fax: 03-6871-3246

web: <https://www.jbaa.org>

e-mail: jbaa@sojitz.com